

■話題のひろば△1▽

## 津高パーティー

### 「対話のための作品展」



上は絵のある芝生に腰かけて津高パーティー最高潮。

下左は詩人の竹中郁、小野十三郎、足立巻一氏。下右は津高和一氏（右）と古林喜楽氏。

秋晴れの11月1日。恒例の津高和一氏の自宅でひらかれる「対話のための作品展」がひらかれた。

津高邸は農家風のしつらえであり、広い芝生の庭があり、アトリエがあるといった牧歌的雰囲気。

ここを全部開放して、作品が並べられ11月1日から5日までひらかれた。作品は、油、水墨、石版画、詩情豊かな津高作品が秋の光のなかに、にぶく光っている。

この集いも9年目である。オーピングパーティーでは関西の文化人が、作品展をさかなにして集う作家の白川渥氏が、小倉敬二氏がアトリエのなかでは、詩人の小野十三郎、竹中郁、足立巻一の各氏が賑やかに話題をひろげているといった具合、主人公夫妻も応待にいとまがない。元永定正、赤尾兜子、松井高男、松永俊一氏といった顔も見える。古林喜楽、大鐸時生、十河巖さんなどもひとかたまりになって話に花が咲いている。陽が落ちはじめるといささか冷めたさは感じるが、この心暖まる場は確かに対話がある。

津高和一氏はまた、大阪芸大の教授でもある。最近、この集いに若い人が多くなり、いろいろとパーティーの手伝いをしていた人たちもお弟子さん達なのであろう。

■話題のひろば△2▽

# 「神戸フェア」

東京 渋谷 西武百貨店で



上左西武百貨店前に置かれた小寺元市長愛用の西洋馬車に見入る人々。上右は「神戸を語る」淀川さん(右)と本誌小泉(左)。下左はにぎわう「にしむら珈琲店」とトアロード「マキシンの」のおしゃれな帽子が人気(下右)。

NHKホールあたりから渋谷のバルコ界隈は、パリの街角を感じる東京の新しい顔。

秋深い十一月六日から十一日まで渋谷の西武百貨店が、A館増築完成記念に、B館七階催場の三五〇坪のスペースで「神戸フェア」を開いて話題を呼んだ。

テーマは「ヨーロッパと呼びたいは・いから特集」。港神戸の味覚ファッション、アンティーク、家具と神戸っ子のコレクションを集めて、展示と販売を東京人にアピール。初日には神戸出身の淀川長治さんもかけつけて「神戸を語る」ひとときもあり、終ると東京住いの神戸っ子達が懐しく語りかける一幕もあった。参加店約五〇社。

神戸ろまいもの会／トアロード・デリカデッサン、古希庵、高嶋平介商店、東村徳太郎商店、かいや、白水寮、大井肉店、宇治川蒲鉾、丸十、神戸下村、オリエンタルホテル、本成駒家、稲荷屋、三笠屋、川上商店、淡路屋、にしむら珈琲店、赤のれん、ドンパル、六甲バター、カボネ、ピストロドゥリヨン、ビノッキオ、ティファニー、本高砂屋、ヒロタ、亀井堂総本店、菅園、ういろや、豊田屋、えびら館、モロゾフ、岡安堂、柴田最盛堂、寒川本舗、灘の酒、ファッションの店芸夢、ベニヤ、リリィ、マサヤ、ポニー、カワムラ、マキシシ、美登里屋、カクシン、アンティークの店／元町美術、HAPUR、セントジョージ、フレイ。家具／たかねやその他。





春を待つ  
嬉しい表情

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

**服部メガネ店**

神戸・大丸前 TEL 331-1123

クリスマスの夕べ 輝く髪<sup>ひと</sup>の女



ヘアードザイン/畑尾宇多子

株式会社 美容室

**エリザベス**

本店 三宮神社北東三上ビル 2F TEL.331-8894・4917

芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅山側 TEL.0797-22-4067

お貸衣裳部

**花嫁衣裳サロン**

東京初代遠藤波津子直流

畑尾美久子の店

生田神社前通 TEL 331-3258

専属結婚式場 生田神社会館・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・蘇州園地

こんにちは赤ちゃん



芦屋市精道町 / 藤田吉隆ちゃん

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

## 芦屋柿沼産婦人科



芦屋市大栢町1番18号  
国道芦屋川電停車東50米(明治生命南)  
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

## 幼児歯科 小児歯科

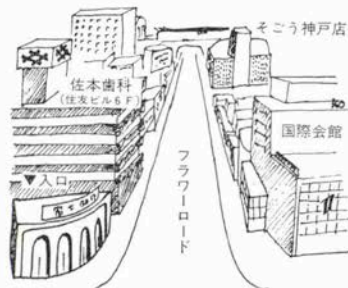
### SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

### 母親教室

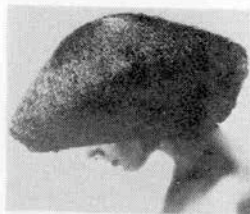
(初診日) 火曜日 午前9時30分  
金曜日 午後1時30分  
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口  
住友銀行三宮ビル6階  
〒650 生田区加納町5丁目39  
TEL (078) 331-6302~3



★ヨーロッパ、ヘア情報

サッスーンのテントカット



▲酒井さん

TENT CUT



Belgium



PARIS

独、仏、スイス、ベルギーの美容院での勉強を終え、神戸にヨーロッパの新しい技術を持って帰って来ました。

ヨーロッパ1975/76秋～冬のニューヘアスタイルをご紹介します。

☆パリ・Coupe. SOLEIL (太陽の源泉) 長さはセミロング、フロントは長めで、後に流れるデザイン。

☆ベルギー SEDUCTION (魅力) 長さは、ロング。サイズは大きなカールでスイングして、後へ流れるデザイン。

☆ヨーロッパでは、サッスーンカットが有名で今新しいデザインの(テントカット)が流行、さすがヨーロッパのおしゃれさんは、テントカットをしてました。

K.F.S. <12月10日>

クリスマスパーティで

遊びませんか?!

——下着ショーだってあるよ——

K.F.S.の第3回定期例会は、1975年のフィナーレを飾って楽しいクリスマスの交歓パーティ。

12月10日(水)生田神社会館4Fで午後6時～9時まで(5,000円)で開かれるクリスマスパーティ。

ショータイムには下着ショーを企画しているが、これは、K.F.S.の会長の作品といっても“アソビ”的なものを紹介したり、神戸のメーカ、川上やモニックレース、美藤商店、ブランシェールなどからの商品提供に、鴨居羊子さんのチュニクのものをごゲスト作品にという構成で楽しく30分をみせる。後はダンスとゲームという3時間。あなたもぜひ。チケットのお申込みは

●K.F.S.事務所 tel 391-4768

●神戸っ子編集室 tel 331-2246

浦野敏彦さん「K.F.S.」が

ハイティ ファッション コンサート

12月13日(土)の午後1時～3時迄大阪ロイヤルホテルのスカイラウンジ30階で、浦野敏彦さんの「ブティックメル」がダンスリー・ルネッサンス合奏団とピアノの佐野ユリコさんとジョイントした「ハイティ ファッション コンサート」を開く。当日券は2,000円です。是非ご参加を!

★K.F.S. メンバーによる P.R.

カット&パーマ

シオン美容室

神戸市長田区川西通4ノ11

tel (078) 691-1779

デザインルーム

ナカハラ

中原 武志

神戸市生田区元町通2丁目37 村田ビル

Phone (391) 4768

室内を演出する

神戸装飾 株式会社

神戸市生田区中山手通2丁目64ノ4

三宮販売部 Phone (331) 0557

神戸もともち

大 丸

Phone 神戸 (078) 331-8121

ミセスのための婦人服

Vert ヴェール

伸和スタイル株式会社

神戸市葺合区生田町3丁目17

Phone (241) 8691

チョコレート

モロゾフ株式会社

神戸市東灘区御影中町6丁目1番19号

Phone (851) 1594

コウベセンスで創る婦人靴  
株式会社

TUKASA ツカサ

神戸市長田区細田町5丁目2ノ8

神戸化学センター5F Phone (691) 7739

株式会社 阿曽理容店

神戸営業所 神戸市葺合区浜辺通5ノ2ノ1

神戸商工貿易センタービル11F tel (251)3010

株式会社 理容アソ

大阪市北区小松原27 富国生命ビル1F

Phone (331) 2214



★神戸ファッション市民大学OBによるグループ  
＜神戸のファッション都市化をめざす＞

# K.F.S. news 3

事務局／神戸市生田区元町通2丁目37村田ビル  
デザインルームナカハラ内 TEL 391-4768

## K.F.S. 主催第1回女性のための ファッション講座で 暮しのファッションを



講義する大田主筆

神戸に生きる女性のためにと、K.F.S. が初のファッション講座を企画。

11月14日～12月2日6回にわたって暮しの中のファッションを神戸の街と結んで選ばれたテーマと講師によって婦人会館＜神戸総合福祉センター5F＞で開かれた。

11月14日の初日は約30名のBGや、ファッションの仕事にたづさわる女性また、ミセスやお嬢さんたちが、神戸新聞主筆畑専一郎さんによる「ファッション都市神戸と女性」をテーマのお話があり、熱心に耳を傾けた。

11月18日は「本物と偽物（節約時代のファッション）」を伊藤博氏（伊藤デザイン研究所長）が。11月21日は、「良い靴の選び方」を K.F.S. の会員

の栗原俊二さん＜KKカーブ＞が、また「住いの改造」について建築家の高月昭子さんが講演。

11月25日は「ファッションと洋菓子」について K.F.S. 会員の松宮隆男氏＜KKモロゾフ営業部長＞が話し、武安正彦氏（KKドンク神戸営業課長）が、「暮らしとパン」について、神戸の洋菓子とパンの魅力や美味しかったべ方などを話され、サンプルつきとあって女性に大好評だった。

11月28日に、K.F.S. 会員の本多泰子さん＜美容院すずらん＞が「おしゃれと女性心理について」、また12月2日の最終回は、小川梢院長＜小川洋裁学院院长＞が、「ファッションコーディネートの楽しみ方」を実地についていろいろ話され、おしゃれ神戸の女性を美しくと、6回にわたって開かれた初の催を終えた。次回は来春に第2回が予定されている。

### K.F.S.第2回マンスリーサロン

女はさわりたい、  
男はさわりたい。

### 「人間の欲望と都市空間」

K.F.S. の定期例会第2回マンスリーサロンが11月8日貿易センタービル23階F室で午後6時30分より開かれ、



山川勝彦氏

講師に山川勝彦氏＜山川研究所所長＞参加者は約50名。

先にK.F.S.会員の松宮隆男さん＜KKモロゾフ営業部長＞の

スピーチがあり、「これからの洋菓子づくりは、消費者の生活イメージを描きながら商品構成することが大切ではないだろうか。ファッションは人が集まる肌のぬくもりみたいなもので、ファッションと洋菓子との関係は人と人とのふれあいにポイントがある。消費者が生活を楽しんでもらえる消費者中心のものづくりを」と、新しい販売促進を語り、山川氏は、「本来人間のすべては「間」によって構成される。間がいい間がもてぬという人間の行動と、空間。それに加えて人間の欲望が加わり、複合社会の中では、求道精神的な方向といろいろなものへの複雑な欲望、両者をバランスとして生きることが必要ではないだろうか。都市人間のひびみをうづめるものはストレスの解消のための繁華街（置物、飲食、遊び）の必要と趣味を生した自然の中での暮らしといったものがある」と現代人の生活の二面性のバランスの大切さを語った。



# 動物園飼育日記—100—亀井一成



ないしょ話シリーズ <36> 銀ちゃん送別の夜





双児のチンパンジー銀ちゃん生後11年84日。その夕方不幸な大発作が元氣だった銀ちゃんを突然おそった。

昭和50・11・1午後四時、食時前、必ず態度で示すオスの「怒り行動」。兄の金と呼応しては隣りのオスとメスや、オランウータンめがけわめきらし、あばれまわる攻撃的な興奮のさなか、銀が突然失神し、鉄格子から落下した。その瞬間はだれも目撃できなかったことも不幸が重った。数分後私が気づいたときにはコンクリートの床にたたきつけられ、胃の内容物を嘔吐し、脱糞が多量にみられ、呼吸は浅く、銀は昏睡状態に陥っていた。

#### 〔昏睡十四時間〕

室内に入れてやり仰向きではヨダレや胃の内容物で窒息の危険があるため横に寝かせたが、手足は重たく冷えていた。布切れと毛布で体を包んでやり、保温と呼吸を助けてやるようつききり。銀のオリの中で寝てやった。うす暗いオリの中、それは銀ちゃんとババ最後の一夜だった。想い返せば限らない金と銀ちゃん。11年3カ月。そして姉チェリーとの生活があった。

昭和39・8・7午前零時5分、チンパンジーの母親マコは世界でも類例の少ない双生児を出産した。しかも一卵性。ともにオス。当時東京オリンピックにちなみ、そ

うは、生後30日の銀ちゃん、金ちゃん。毎日のように体重を計った。下は、右より金ちゃん1才、チェリー2才、銀ちゃん1才。

の子らは金と銀と名づけられた。

初産は2日で死亡。第二産も授乳がなかったため、わが国初の人工哺育で姉チェリーを育てたが、第三産めにあたる双児の金と銀は体重僅かに八〇〇グラム（平均二〇〇〇グラム）未熟児の双児はミイラのように痩せ、その夜から徹夜の育児をはじめたが、私にはこの双児が育つという確信がどうしても持てなかった。

哺乳のため身体を起すだけで顔面蒼白、ヒキツケを起すこと生後一週までに三回。そのうち二回は呼吸困難に陥りそのつど人工呼吸と全身マッサージを続け、酸素ボンベが離せなかった。

その金と銀が、ようやく順調な発育を見せはじめたのは生後三カ月ヨダレの下からまっしろな門歯2本が顔をのぞかせた頃だった。

●一〇〇日の食べぞめも祝ってやった。

●七五三参りや近所のお地藏さまにもお参りした。何時も洋服の下に、お守りさんを持たせていた。

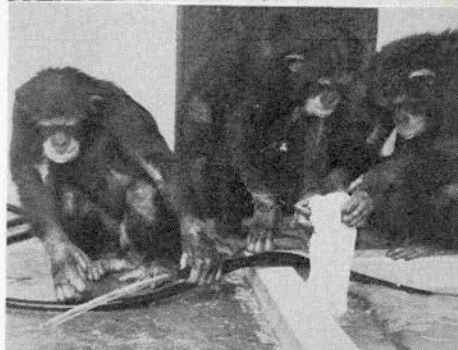
●人間と同じ平らな上で育ったことから、歩くまでに、寝返りから、お座り。腹ばい。そして伝い歩きという育ち方をした。

●冬になるとヒビ割れや、シモヤケにもなった。毎夜お





上は、金ちゃん、銀ちゃん6才。中は△右▽チェリー7才、△中▽銀6才、△左▽金6才。下は△中▽銀ちゃん、△左▽金ちゃん7才△右▽チェリー8才。



風呂のあと、チョコラザネを塗ってやった。

●公明選挙運動に参加、本庁前から、センター街、元町へと、パパといっしょに乳母車で行ったこと。それに六甲山トンネル開通式の日、オーブンカーの上でふるえたこと。

●金と銀、パパはよくまちがえた。だが、耳のしわが違っていた。

●おっとり方の金にくらべ銀は好奇心が強く、何んでも手を出し、そのくせ金に取られてた。

●パパが一番悲しく困った日。それはお前たち、チェリーもまじえ、三姉弟がとうとう動物園のオリの中に帰る日だった。金と銀はパパの両足にしがみつき、チェリー姉ちゃんも背中からおりない。パパは泣きながら、お前達を、むりやりオリの中におし入れたとき。長い間馴れるまでオリの中で毎夜いっしょに寝てやったこと。

●パパがお前たちとずっといっしょにオリの中にいたからこそなことにならなかったにちがいない。

●なぜお前たちは、何時も黙ってばかりいる。

●お腹が痛い。頭が痛い。あれが食べたい。あいつが、石を投げつけた。寒い。暑い。何でもいから、ちよっとでもいいから喋ってくれたら、そう思わない日はな

い。

●それにお前たち、シヤツクリ。あくび。笑うこともできるのに、何故悲しい涙がでないだろう。パパはそれがふびんでたまらない。強い光の刺激やゴミが入ると眼から涙が出る。だが感情につながらないお前たちの泣き声には、かわいそうに一滴の涙も落ちてこないことを、パパはちゃんと知っている。

〔別れのとき〕

翌朝六時二〇分。眠ったままの銀はとうとう私の元へは帰ってくれなかった。

冷たくなった銀をオリから抱きだそうとしたとき。私が見たのは、これまで一度も見せたことのない異様な声と悲しみのあふれ出た姉チェリーと金の姿だった。身体をゆさぶり、心の内を精いっぱい表し、その悲しい顔の眼には涙こそなかったが、チェリー姉ちゃんも金ちゃんも銀の死を悲しみ、ほんとうに泣いていた。

パパの両腕に抱かれた銀ちゃん50才の重みは、元氣だったときと少しも変らないお前の顔は決して忘れない。どうか残った姉チェリーや金、そして、小さな神ちゃん。それにこれから誕生してくる兄弟たちの幸を守ってやっておくれ。

△王子動物園学芸員／写真も△

●インテリア  
コーナー〈2〉  
**king's lounge**

設計施工  
キングアドバンス 大原 寛

インテリア 株式会社  
総合商社 **キング  
アドバンス**

お問合せ ☎231-6450



一日に一度は  
足を運びたくなる  
インテリアの総合商社「キング  
アドバンス」が設計したこの花  
隈にある「キングス ラウンジ」  
は、モダンとアンティークを調  
和させた粋なインテリアです。



昼は喫茶店に、夜のドリンクタイムは 安価、ムード、美女  
三拍子を鉄則にスタートしたのが《キングス ラウンジ》です。  
ティータイム 9時～6時 ドリンクタイム 9時～1時 飲んだ後  
コーヒー ¥200 ボトルキープ ティチャー ¥5,900 フルーツの  
デザートサービス  
オール ド ¥5,900

**king's lounge**

神戸市生田区北長狭通 6ノ11ノ1

☎ (078) 351 - 6 8 3 5



おかげさまで〈二幸〉も  
6周年記念を迎えました。

●6周年記念ゴルフコンペより



うなぎととんかつ

二 幸

大丸前筋日東館北

TEL 331-3560





三宮方面でのお買物は……  
 さんちか店 フアミリータウン ☎三三九一四〇四五  
 三宮店 センターラザ一階 ☎三三一一四九六九  
 元町方面のお買物は……  
 パンブ店 元町通三丁目山側 ☎三三一一〇〇九〇  
 神戸駅前方面のお買物は……  
 サンこうべ店 神戸駅前地下街 ☎三三五一六〇〇二

おもちゃの  
**カメラ**



およろこびの日の  
 心からの贈り物に  
 カメラの人形を！



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

**三恵洋服店**

元町4丁目 TEL (341) 7290

## KOBE SHOPPING GUIDE

**クリスマス**



**メリー**

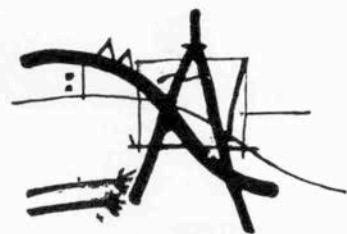
デコレーションケーキは、クリーム・  
 チョコレート各1000円からございます。

北 欧 の 銘 菓

**ユーハイム・コンフェクト**

■本社・工場・熊内店 神戸市灘合区熊内町1-8(南宝美術館東隣) TEL 221-1164  
 ■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸デパート・元町店

額縁絵画・洋画材料  
 室内工芸品



**末 積 製 額**

三宮・大丸北  
 トア・ロード  
 331 1309・6243



## 無半田接着罐

諸岡 博熊

△神戸市企画局参事△

缶ビール、缶ジュースなどの容器は、半田付けで接着製缶されてきた。半田に含まれる鉛公害を排除するため、缶材料がアルミニウム、ガラス、プラスチック、紙などに移行し始めている。ところが、金属缶は、ガラスや紙などの材料と違い、成型性や外観の美麗さで優れているため、半田を使用しない製缶法の開発が急がれていた。ここ数年、無半田による接着製缶技術が開発され、高温の加熱殺菌を伴わないビールやジュースなどの容器として利用され始めている。

それは、①接着構造で半田を使用しないため、鉛による重金属汚染の心配がない。②一缶あたりの材料の使用量が少なくてすむ。③半田付け部がないため印刷面積が大きくとれる。④ぶりに比べて、安価なティン・フリー・スチール（TFS）が使用できる。といった特徴をもつためである。無半田缶の種類、加工法、主な使用素材、適用例を表にしたもののうち、接着缶をとりあげてみる

無半田缶の種類・加工法等

種類	加工法	主な使用素材	適用例
接着缶	接着剤による接合	TFS	ビール缶 炭酸飲料缶
溶接缶	溶接による接合	TFS ぶりき	ビール缶 ビール缶
DIS缶	絞り及びしこき加工	ぶりき アルミ	ビール缶 飲料缶
プレス缶	プレス加工による絞り	ぶりき TFS	魚肉缶 菓子缶
ロックシーム缶	折り曲げ加工による接合	ぶりき TFS	乾電池缶 雑缶

(DIS: Drawn &amp; Ironed Steel Can)

と、接着剤の積層によってつぎのようなものがみられる。

- ①セメント・サイド・シーム缶  
ポリアミド系の充填剤を接合部に塗布し捲き締めるもの。ただし接着強度、気密性などがやや劣るため、用途としては、モーターオイル缶と粉乳缶に限定されている
- ②ミラ・シーム缶

TFSの両面に樹脂を塗布してナイロンを接着剤として接合するもの。接着強度と気密性に優れているので、ビール缶、炭酸飲料缶に適している。

- ③クリーン缶  
特殊ポリオレフィン系の接着剤を用いるもので、ぶりきでもTFSにも使用できる。五ガロン缶用の新しい接着剤である。
- ④トロー・シーム缶

一九七〇年にわが国の製缶メー

カーが開発したもので、海外に技術輸出するほどの優れたもの。それは、TFSに樹脂を塗布してナイロンで接合するため炭酸飲料缶に最適である。

× × ×

トロー・シーム缶は、①従来の半田接着缶設備の転用が可能なため設備投資が比較的少なくてすむ長所をもっている。②TFSがぶりに比べ缶材として安価なため製品が安くなる。また、製缶能力が半田缶と同等以上といったさまざまなメリットをもっている。③とくに、接着強度と気密性の点でビールや炭酸飲料缶に適しているその上、美麗な印刷面積を大きくとれるという利点をもっている。

いずれにしても、無半田缶は時代の要請で、収納する内容物によって、DIS缶、溶接缶など接合技術の種類が変化する。このなかでも、加熱殺菌に弱いといわれる接着缶は、技術的に改善されたとはいえず、材料費の面で伸び悩んでいる。したがって、このような適用のため、DIS缶や溶接缶の設備も増設されており、接着缶との市場シェア争いが生じている。

とくに、ソフトドリンクの飲料缶の需要が、食生活の改善とともに伸びているので、無半田接着缶は、まさに時代の波にのっているといえる。



# 市民みんなで ボランティア 活動を！

最近、「何か社会のお役に立ちたいんだけど、私にお手伝いできるようなことがあるでしょうか」という主婦や学生、勤労青少年の声をしばしば耳にするようになってきた。

自分の生活に時間のゆとりができたので、その時間を利用して他人のために働きたいという人や、今の家庭生活や学生生活、あるいは会社での仕事はどうも単調すぎて満足できない、何かもっと積極的な生き方をしたい、社会的な活動がやってみたい、と思う人などその動機はさまざまであっても、こういう気持ちをもつ人が増えてきたというのは大変嬉しいことだ。

しかし、自分にできることを何かやりたい、という素朴な気持はあっても、どこに行けば何ができるのかわからないでいる人も多い。

一方、福祉施設や病院などでも最近では地域の人たちの協力を求めることも次第に多くなってきており、市民のボランティアと福祉施設との間にたつて双方のニードを調査し調整する斡旋機関のようなものがどうしても必要となってきた。

今年の七月一日から神戸市社会福祉協議会のなかに誕生した「ボランティア情報センター」はこうした社会的背景のなかから生まれたものである。このボランティア情報センターは、あいている時間を利用して自分の知

識、技術、労力などを福祉活動のために使いたいという人の申込みを受けると、その人の希望に合った適当な施設や活動を紹介したり、あるいは施設が必要としているボランティアをさがしたりする仲介の役目もあるが、その他ボランティア活動に関する総合的な連絡調整と情報の収集、提供などを行っている。

七月に発足してから十月末までの四カ月間の利用状況を見ると、受付件数は全部で一五七件で、そのうち73件は施設や団体などからのニード、67件がボランティア希望者の申込み、13件がボランティア活動に関する相談、4件が技能をもつボランティアの登録となっている。

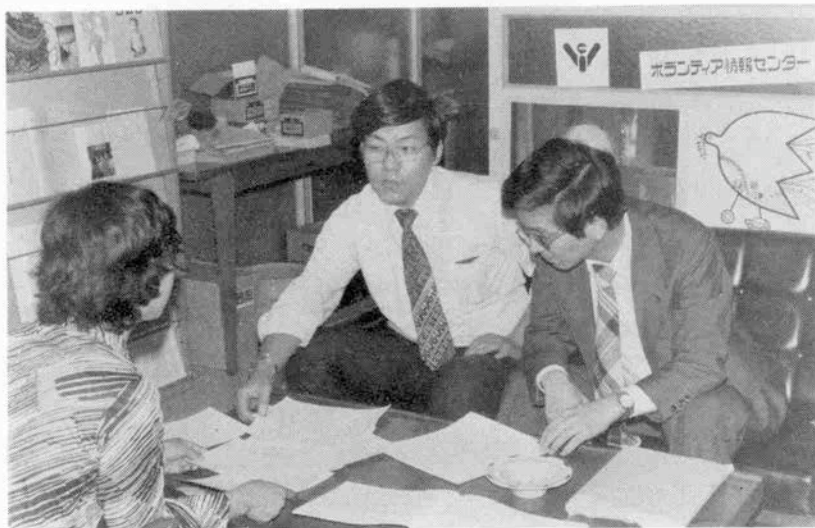
このボランティア情報センターにボランティア活動をしたいという申込みをしてくるのはやはり大学生、若い勤労者、主婦などが多いそうだが、主婦や勤労者の場合は具体的に「こういうことをしたい」とはっきり自分の希望を言う人よりも、ただ「何かしてみたい」という漠然とした気持ちで申込んでくる人が多いようである。学生の場合は夏休みのキャンプなどの手伝いをしたいという人が割合多いようだ。今までの申込み者のなかで最高令者は67才のお年寄り、保育所のお手伝いをしたいという申し出があった。異色のボランティアとしては神戸大学に留学中のベトナム人の留学生からの申込みがあり、彼は今灘区鶴甲の精神薄弱児通園施設の「ひまわり学園」

で活躍中とのことである。

これらのボランティアを受入れる福祉施設などの状況を見ると、市社協の調査ではボランティアを受入れる意思のある施設は67%で、意思のない所が32%、すでに受入れている所が45%ほどある。

施設側の希望としては散髪の手伝い、施設の修理、ゲーム、手芸、学習、園芸などの指導者を常時必要としており、お茶やお花の指導など多少知識や技術などが要求されるもの、盲老人の音楽指導、全ろう女性の学習補助など

ボランティア希望者の応待に忙しい情報センターの職員



ど専門的な知識が必要なものでさまざま。施設の種類によつては、たとえば保父さんを求めている保育所もあり、老人の話相手や代書、盲人への朗読奉仕を求めている老人ホームもあり、障害児の歩行訓練の補助や外出の時の介助者をさがしている肢体不自由児の施設などもある。

最近では主婦の間に病院ボランティアの希望者が多くなり、ボランティア活動を行う病院も増えてきた。参考までに阪神間でボランティア・プログラムをもっている病院をあげると、県立西宮病院、尼崎病院、芦屋市民病院、県立ガンセンター、関西労災病院、兵庫医大附属病院、甲南病院、海星病院、舞子台病院などがある。

最近、福祉見直し論なるものがささやかれているようであるが、福祉活動というものを単に行政や福祉関係の専門家だけの手にゆだねていたのでは十分な広がりや深みのある、キメ細かい満足な仕事はとうていできないし、おのずと限界も出てくるのは当然のことであろう。

その町に住む市民が自らの手で主体的に活動する姿勢をもつてこそはじめて福祉社会への道が開けはじめるような気がするがどうか。市民総ぐるみのボランティア活動がその道を開くカギになることを期待したいものである。言葉は悪いがオッチョコチョイの神戸っ子にはその素質もエネルギーもありそうだから、来年あたりは行政も「ボランティア局」ぐらい設けて日本ではじめてのボランティア都市づくりをやってみたらどうだろう。とにかく何かやってみよう、ボランティアのことをもっと知りたい、勉強もしてみたい、……等という人は一度左記の「ボランティア情報センター」へお問い合わせください。

場 所 神戸駅山側湊川神社西門前の市立総合福祉センター二階。

神戸市社会福祉協議会内

TEL・三五一三〇四四

開所時間 月・火・水・金曜日は午前九時半から午後五時まで。木曜日は午後八時半まで、土曜日は正午まで。日曜・祝祭日は休みです。

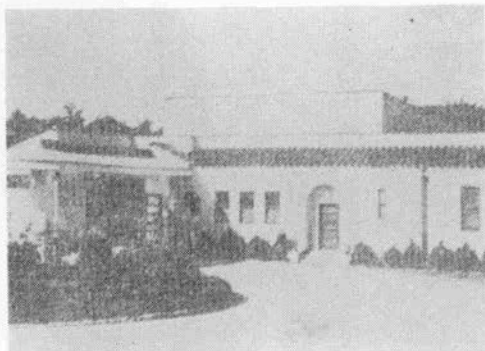


# OLD KOBE

心にのこる

ダンスホール

〈終〉 あおば しげる



名 称	許 可 年 月 日	ホー ル	教 師		ダンサー	バンド	1日平均 入場者	所 在 地
			男	女				
尼崎ダンスホール	昭和4.1.7	100	8	10	50	16	70	尼崎市昭和南通3丁目708
宝塚会館	4.6.3	97	18	1	41	11	48	武庫郡良元村伊予志字逆瀬823
ダイヤモンド	4.9.10	51	5	2	27	10	70	神戸市神戸区浪花町58
花園ダンスホール	4.11.14	65	9	7	41	15	80	。 北長狭通6丁目65
キングダムスホール	4.12.18	106	10	12	60	14	70	尼崎市杭瀬一の坪17の1
西宮会館 (ガーデンホール)	4.12.28	73	9	1	16	6	45	西宮市津門字登り798
取神会館 ダンスパレス	5.2.13	95	15	15	65	16	80	尼崎市杭瀬14
西宮ダンスホール	5.12.27	68	5	5	32	14	80	西宮市神楽町13
鈴蘭ダンスホール	6.7.7	54	5	4	29	7	82	武庫郡山田村字香の谷1
神戸社交クラブ	7.5.31	65	7	6	42	15	100	神戸市神戸区三宮町3の18
ダンスタイガー	8.5.1	90	14	5	63	13	70	尼崎市杭瀬前26の1
キャピトル	11.7.23	52	7	6	29	12	70	神戸市神戸区三宮町2の4

昭和6年許可の鈴蘭ダンスホール

県下にあったダンスホール一覧（昭和12、内務省警保局調査）

★兵庫県下はいつも日本一多かったホールの数

大正末頃の退廃的ムードに乗っていち早く登場したのはカフェーだったが、「赤い灯青い灯道頓堀の……」という当時大流行の流行歌にあるように、カフェーの発生地は大阪とされている。これがたちまち全国各地に波及して、大正一五年には兵庫県下だけでも九四四軒もできたが、グラスに揺れるワイン、セクシムードをあおるレコード、もうもうたる紫煙にかすむ安っぽいシャンデリア、甘い脂粉の香を漂わせる女給のサービス、これがカフェーのふんいきだった。ここには古来のお茶屋遊びのような密室的な閉鎖性はなく、狭くともそこにはある種の心理的解放感があったことが、自由主義的ムードを求める当時の人々の心理的欲求にマッチして、たちまち享楽の代表的存在となった。

このカフェーに少し遅れて登場して、やがてカフェーと並んで流行し、特に大都会でモボや西洋かぶれの人々（当時古い考え方の人や多くの老人たちは彼らを非難してこう呼んでいた）の大人気を集めたのがダンスホールである。もつこのソシアルダンス（社交ダンス）がはじめてわが国に到来したのは、明治の鹿鳴館時代であるが、この頃は上流階級のごく一部に流行しただけで庶民には縁のない存在であった。つづいて第一次世界大戦後には本格的に輸入され、一流ホテルは競ってホールを設備し、カフェー・西洋料理店の二階はにわか造りのダンスホールになった。だが、男女が相抱いて踊るダンスは、当時の為政者にとって風紀上放置できぬ問題であったため、実現はしなかったが、大正一五年の第五一議会には憲政会・政友本党の有志議員から「社交舞踊取締法案」が提案されている。こうした状況から、警察は昭和二年には「ダンス取締」を議題にした近畿中国地区保安警察協議会を京都で開催している。

だが、時代の要求はストップさせるわけにはゆかず、昭和二年頃まず東京に四〇も五〇ものホール、教習所が雨後のタケノコのようにできたので、警視庁は三年か四

年に、有名なフロリダ（赤坂溜池）はじめ八つに限定許可を与えた。東京より取締りのきつかった関西の許可ホールは少なかったが、それでも外国人の多く住んでいた神戸を有する本県には昭和二年にすでに六つのダンスホールがあり、全国一位（神奈川五、東京四、愛知二、京都一）を占めていた。内訳は神戸四（帝国舞踊学館・神戸舞踊クラブ・神戸ミヤサキ音楽舞踊院・ダイヤクラブ）、尼崎一（アマガサキダンスホール）、西宮一（甲南クラブ）となっている。当時大阪府は許可しない方針をとっていたので、後年生駒山々上に生駒ダンスホールが作られるまでは大阪方面にはホールはなかった。五年には八つにふえ（宝塚会館・花隈ダンスホール・キングダンスホール・西宮会館・阪神会館―ダンスパレス・西宮ダンスホール等出現）、その後もふえて十二年十月の公式調査では全国で四九を数えたが、本県はそのうち一二で依然としてトップを占め、つづいて神奈川一、東京一〇、京都四、その他一二となっている。東京より多いことは今から思うとふしぎな気もするが、日本一の貿易港として外国船の往来の激しかった神戸方面だけに当時としては当たり前の現象だったわけだ。なお、年々鈴蘭台（現在神戸市北区）の山中にできた鈴蘭ダンスホールは、月夜など暗くした時ホールに月光が指し込んでなかなかロマンチックなムードでホール客を陶醉させたものである。五年の内務省警保局調査による「兵庫県下ダンスホール一覧」「兵庫県警察史」所載を見ると、当時のホールの盛況振りがよくわかるが、ダンスの数だけを拾っても約五〇〇人もいたわけである。客も全ホールの一日平均九〇〇人近くを数えている。じつさい、当時各レコード会社が競って売り出した数多くのダンス曲を聞いていると、だれしもダンスをしたくなるのは当然で、一部の堅人（がちじん）や右翼思想の持ち主、国粋派の連中を除いて、特に若い人々はダンスを習い、ちよっとおぼえるときっそくダンスホールへ出かけて、ダンスを抱いてバンドの奏する楽しいメロディに陶醉して踊っ

たものである。システムはアメリカなどというタキシード・ダンスで、一回踊るごとに一枚のチケットを渡すのであるが、普通午後三時から七時までは昼券（三分間一〇銭）七時から一時のラストまでは夜券（二〇銭）を一〇枚綴りで売っていたと思う。その頃の銭湯代は五銭、場末の喫茶店ならその金でコーヒが飲めたのだから、昼なら二杯分のコーヒ代で三分間女性を抱ける楽しさは若者にとって格別な喜びであつたわけだ。客の中にはブルジョアや惚れたダンス相手との常連客がいて、その女の子にダンス一回にチケット一枚ではなく五枚分や十回分を一度に与えて歓心を買う者もいた。

ところで社交ダンスといっても、そう簡単に踊れるものではなく、正式に踊れるようになるまでには三カ月ぐらいのレッスン所通いは必要だったし、多少酔った勢いでハメをはづしたダンスをするにしても、やはり最低のルールは知っていないと踊れないわけだから、ネコもシヤクシも気分だけで……というわけにはゆかず、知らぬ者が勢い込んでホールに入っても、いざ踊るとなると、たじたじとなったり、酔いに任せてダンスの手をとったり、果てはダンスにぶつかってばかりいたり、大事なダンスシューズを踏みつけて弁償されたりする恥づかしい情景も最初の頃はよく見掛けられたものだ。

だから、ダンスの方もその辺の呼吸をよく心得ていて上手な客には心よく応じたが、へたくそや無茶苦茶ダンスにはよい顔をせず、時にはハッキリこわたりするケースもよく見られた。この点カフエーの女給など以上に職業ダンサーとしての一種のプライドを持っていたことは事実で、金銭だけで応ずるというのではなく、酔客のエロ・モーションなどにはハッキリと反抗し、時には平手で相手の顔をたたいたシーンなども時々見受けられたものである。その反対に、好きなダンサーと踊りつつ、ホールの閉鎖後のデートを約束していた常連客がかなりいたことも、ホールでの思い出の一つである。